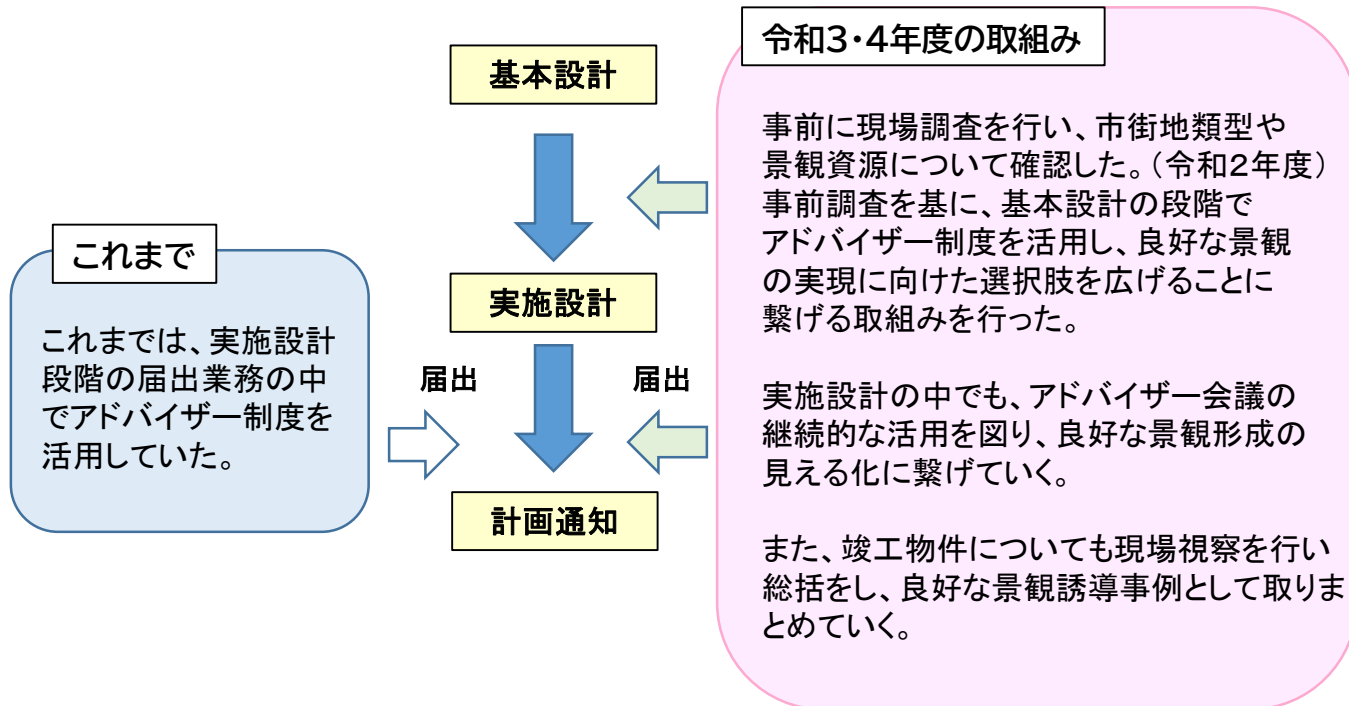


○公共施設等の景観誘導について

令和3・4年度の公共建築物の取組み

公共施設(建築物)は基本計画、基本設計、実施設計と設計の段階があることから、区管理の公共建築物(学校等)の建替え計画に対して、これまでは実施設計の段階で行っていたアドバイザー制度による助言を基本設計の段階で行い、公共建築物における良好な景観誘導に向け、より有効にアドバイザー制度の活用を図っていく。



大森第四小学校



大森第七中学校

令和3・4年度の取組み

【矢口西小学校 令和3年7月時点でのイメージ模型】



基本設計段階でのアドバイザー会議

模型や立面図、イメージパース等を用いて、全体のボリュームや近隣からの見え方等を確認しながら、外壁の素材や外構計画について考察を行った。

《アドバイザーからの主な意見》

- ・フェンスの設け方は、周辺からの見え方に大きく影響を与えるため、仕様や植栽の配置には配慮が必要である。
- ・外構の植栽計画については、線で見せるか、面で見せるかで周囲からの見え方が大きく変わってくるので、効果的に配置を検討されたい。
- ・外壁に強調色を使用する場合、赤やオレンジなどの彩度の高い色を使用するのではなく、ベーシックな色を濃淡により強調させると良いのでは。

【矢口西小学校 令和4年10月 実施設計段階でのイメージパース】



実施設計段階でのアドバイザー会議

《アドバイザーからの主な意見》

- ・周囲からの見え方に配慮した外構計画となった。
- ・色彩についても明度や彩度を調整し、柔らかみのある品良くコントラストが出る仕上がりとなった。



来年度以降の取組み

令和4年度は、来年度以降基本構想、基本計画を実施予定施設の現場視察を行った。
来年度以降は基本構想、基本計画段階でのアドバイザー制度の活用を検討して行く。